

モザンビークの現状に関する国際声明

本声明の署名団体は、現在のモザンビークの農村部で起きている大規模な人々の強制退去と拡大する暴力について懸念を表明し、モザンビーク小農の権利を尊重し擁護するよう、モザンビーク政府と国際社会に対し要求します。

モザンビーク全国農民連合（ポルトガル語訳略称、UNAC）は、2014年2月13日、モザンビークの農村部で起きている殺害と、大規模な人々の強制退去、そして暴力を許容する情勢が蔓延しつつある状況を非難するプレスリリースを発しました【1】。

UNACは、21年前に、16年間の内戦を経て実現した和平が崩壊しつつあることに深刻な懸念を表明しています。被害を被った地域に住むUNACのメンバーの証言によれば、モザンビーク民族抵抗運動（RENAMO）とモザンビーク政府軍の間で行われている攻撃と衝突がモザンビーク農民の安全を脅かすのみでなく、彼らが農地を耕したり農作業を行うことの妨げになっています。これらのすべてが、今年の収穫やモザンビークの食料主権について、深刻な影響を与えています。

特に、直接あるいは間接的に、強制退去、嫌がらせ、脅迫の被害に遭った69,000軒の農家（約345,000人）の状況を懸念しており、被害を受けた郡は、ソファアラ州のマシャンガ、シバババ、マリング、ゴロンゴサ、ニヤマタンダ、ドンド郡、テテ州ではモアティゼ郡、マニカ州ではマコッサ郡、ナンプラ州ではラパレとメクブリ郡、インハンベーン州ではオモイネ、フンアオウロ、ビランクロス郡となっています。

わたしたち本声明の署名団体は、2009年からモザンビーク小農の人権と農業と農村開発についてモニタリングを行ってきました。わたしたちは、モザンビーク小農の社会経済活動に関する権利が広範にわたって意図的に侵害されている現状を非常に懸念しています。悪化する国内の紛争はモザンビーク社会の平和と調和を脅かすものです。

以上を鑑み、わたしたちは、UNACが戦闘者/武装勢力に対して呼びかけているすべての敵対行為の即時停止、武力闘争の放棄、紛争の解決に向けたインクルーシブで民主的な対話メカニズムへの復帰を支持します。

UNACによれば、モザンビークでは、市民に対する脅迫や嫌がらせのみでなく、専横的な市民の拘留や殺害が目撃証言や報道に基づき報告されています。しかしながら、国内で過去数か月に起きた個々の事件についての独立した情報が不足しているため、逮捕されたり殺害された被害者の数が判明していません。これまで、報告があった事件についての調査は行われておらず、したがって、不処罰状況が生まれており、モザンビークの人々を危うくしている現状です。

以上から、わたしたちは、モザンビーク政府に対し、武力衝突が発生してからこれまでの数か月間で起きた事件について、特に、報告があった脅迫、逮捕、殺害、そして人権侵害のすべてについて、独立した調査を受け入れることを求めます。

現在継続しているRENAMOとモザンビーク政府軍の衝突は、16年の内戦に終止符を打った1992年のローマ和平協定に反するものです。この和平交渉には、国連、アフリカ連合、ヨーロッパ連合がオブザーバーとして

参加しています。従って、国際社会、特に国連、アフリカ連合、そしてヨーロッパ連合に、モザンビークにおいて現在進行中の武力衝突を止めることと、報告されている人権侵害について調査を進めるべく関与を求めます。

さらに、わたしたちは、モザンビーク国と国際社会に対し、現在の開発戦略の見直し、例えばUNACによって作成されている「家族農業の支援国家計画」に示されるモザンビーク小農の視点を特に反映させることにより、モザンビークの小農の権利を尊重し擁護するよう要求します。

【1】 UNAC プレスリリース

「モザンビークにおける政治状況と軍事活動が農業開発に及ぼす影響」 2014年2月
<http://www.unac.org.mz/index.php/7-blog/74-os-impactos-da-situacao-politica-e-militar-nodesenvolvimento-da-agricultura-em-mocambique>

2014年4月17日

<署名団体>

ACTUAR - Associacao para a Cooperacao e o Desenvolvimento, Portugal

Africa Japan Forum, Japan

African Biodiversity Network

Articulacao dos Empregados Rurais do estado de Minas Gerais - ADERE/MG, Brazil

Articulacao dos Povos Indigenas do Brasil - APIB, Brazil

Associacao Brasileira de Estudantes de Engenharia Florestal - ABEEF, Brazil

ATTAC Japan

Centro de Estudios para el Cambio en el Campo Mexicano (CECCAM), Mexico

Centre for Sustainable Development, Iran

Centro Internazionale Crocevia, Italy

Concerned Citizen Group with the Development of Mozambique-Japan, Japan

Conselho Indigenista Missionario - CIMI, Brazil

Comissao Pastoral da Terra - CPT, Brazil

Coordenacao Nacional de Articulacao das Comunidades Negras Rurais Quilombolas - CONAQ, Brazil

Entidade Nacional dos Estudantes de Biologia - ENEBio, Brazil

Federacao dos Estudantes de Agronomia do Brasil - FEAB, Brazil

Federacao de Orgaos para Assistencia Social e Educacional (FASE), Brazil

FIAN International

FIAN Netherlands

GRAIN, International

Instituto de Estudos Socioeconomicos (INESC), Brazil

Japan International Volunteer Center (JVC), Japan

La Via Campesina Brazil

La Via Campesina, International

Landless People Movement, South Africa

Movimento dos Trabalhadores Rurais Sem Terra - MST, Brazil

Movimento dos Atingidos por Barragens - MAB, Brazil
Movimento dos Pequenos Agricultores - MPA, Brazil
Movimento de Pescadores e Pescadoras Artesanais - MPP, Brazil
Movimento de Mulheres Camponesas - MMC, Brazil
Movimento dos Atingidos pela Mineracao - MAM, Brazil
National Fisheries Solidarity Movement, Sri Lanka
No! to land grab, Japan
Pastoral da Juventude Rural - PJR, Brazil
REDSAN-CPLP (Civil Society Regional Network for Food Security and Nutrition in the Community of Portuguese Speaking countries)
Space Allies, Japan
Tanzania Network for Biodiversity
Terra Nuova, Italy
The Surplus People Project, South Africa
Transnational Institute (TNI), Netherlands
War on Want, United Kingdom
World Development Movement, United Kingdom

<本声明原文>

http://www.fian.org/news/article/detail/fian_expresses_concern_about_the_current_situation_in_mozambique/